

惟ふに、統一運動に於ける左の同盟の失敗は、組合主義の進歩に非ざるに、
 以外に何等の指導精神の發展を來せざることに在り。此の如きは、
 此の努力を回避して従りに現實主義の進むべき道に於ては、
 望しき、左翼の遂に経済同盟の組織を成すべし、全權的経済同盟
 の実現にやくやく困難なる組合運動を放棄せざるべし、あるは此明らかり
 無産階級の利益に随して進むべき道に在り。

我等は我國資本主義の現段階に在りては、
 するも決定せざるものがある。此の段階に在りては、
 外は無産階級運動の行くべき道を我々自身で決定せざるを得ず、
 外は無産階級の大衆化の方針を決して決意し、此の組合同盟成立の意
 義を確立せんとするものがある。

- 一 組合同盟は階級の立場を厳守し、経済的搾取と政治的弾圧に抵抗す
 ることに依り、我等は無産階級運動の指導方針を確立する
- 二 斯くて経済階級に在りては、同盟の依り、大組織労働大衆を階級の
 組織する
- 三 労働総聯合の拡充を以て全無産階級の同盟力を階級的に結成し以
 て

く我等の同盟力を集中する

(五)
 吾が組合同盟は所謂左右両翼の抗争に依りて混沌状態に置かれたる
 吾國無産階級陣営に出現して以來、彼等の誤れる指導精神と激
 烈なる内争と敢行し、創文後日而次第に拘りず、無産大衆の甚大なる
 信頼を贏ち得た。

我等はその最初に宣言せる正道確たる名に背かざるを確信する。
 右宣言す

昭和二年四月十一日

日本労働組合同盟

第一回全国大會

綱領

一 我等は團結の威力により労働條件の維持改善を計り更に我國労働階級
 とその被搾取的地位をより更に進んで